



7月のほけんだより



2021/07/01

発行

梅雨に入り蒸し暑い日が続いています。まだ、夏日の気温ですが、これから30℃以上の気温の日が増え、蒸し暑さが増してきます。子どもたちも発熱したり、だるさを感じてゴロゴロすることが多くなります。水分・塩分補給や休養をとりながら、体調管理をしていきましょう。

『プール・水遊びについて』

7月13日がプール開きになります。今年も新型コロナウイルスの影響で耳鼻科検診がプール前に行えません。鼻汁が多い・濃い・耳が痛いなど症状がある場合は、プール前に受診してください。プール・水遊びのお知らせを配布していますのでご覧ください。幼児は屋上でのプールですが日よけをし、途中で休憩を入れながら行っています。また、熱中症を防ぐため、幼児の屋上、乳児のベランダでは熱中症指数計を用いています。熱中症指数計で暑さ指数が28℃（気温ではありません）を超えると様子を見ながら行い、31℃（危険）になると即中止になります。ご了承ください。

『感染症について』

東京都では「RSウイルス」が流行しています。秋以降に多いとされる呼吸器系の感染症で2歳までにほぼ100%罹患するといわれています。年齢が低いほど重症化することがあり気管支炎や肺炎を合併することもあります。咳が続いて「風邪かな」と思う時は念のため、受診をするようにしてください。

〈主な症状〉

- ・38.0℃～39.0℃の発熱
- ・鼻水
- ・激しい咳
- ・ゼイゼイという呼吸音



〈蚊対策〉

*園での対策

- ・乳児：アロマオイルの虫よけ
幼児：天使のスキンペーパー（イカリジン配合）
- ・お部屋・ベランダ：虫コナーズ、網戸
- ・お庭：蚊取り線香（除虫菊）
- ・その他：不要な水たまりをなくす



蚊対策は取っていますが、刺される場合もあります。虫刺されがひどい場合は、長袖・長ズボンも検討しますので担任までお話しください。

*虫刺され後の処置

- ・流水で洗浄後 乳児：ベビームヒ塗布、幼児：
レスタミン塗布（ガーゼ保護することもあり）
薬剤は園医に確認したのですが、塗ってほしくない場合はお声掛け下さい。

（夏の感染症）

昨年は夏の感染症は園でも地域的にもほとんど見られませんでした。

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。

プール熱（咽頭結膜熱）

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。

手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができる。（膝やお尻に出ることも）熱が出ることも。

〈今月の保健行事〉

- ・健診：7/8（木）
- ・身体測定：月1回（0歳2回）